

NAGOYA DESIGN SCHOOL シリーズセミナー

# 土地と文化と、 ときどきデザイン

vernacular, culture, and sometimes design

土

と

文

tochi to bunka

イタリアと香川から  
紐解く文化の話

Uncovering culture  
through Italy and Kagawa

2025  
2.27 木  
16:30-21:00

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

名古屋市中区栄3丁目18-1  
ナディアパーク デザインセンタービル 4F

一限目 開場16:00 / 開演16:30 (定員20名)

二限目 開場18:30 / 開演19:00 (定員50名)



◀ 申込

締切 2/21 (金)

その土地でおきることは、その土地だからおきる。住民の生活や文化に深く働き掛けるものとして、“風土”という言葉がある。土地で湧き上がるデザインにも、その風土が深く関係しているのではないか。土地と文化とそこにまつわるデザインの事例を紐解きながら考えてみたい。シリーズ第一弾は、イタリアと香川。

## イタリア

### なぜイタリアでは プロジェティスタが生まれたのか。

—限目 / 16:30 ~ 18:30 (開場 16:00)



デザインを表層的でなく幅広い意味で捉え、人々の生活や社会をどう変えていくのかを考える“プロジェティスタ”という存在。イタリアデザインを陰で支えた、彼らの大事にした概念のルーツに迫ります。

話し手: **井藤隆志** IFUJI TAKASHI

香川大学創造工学部 教授 / プロダクトデザイナー

岐阜県郡上八幡出身。筑波大学卒業後、富士通株式会社に就職し、IT機器のデザイン開発に携わる。1999年、退社しミラノに渡り、フリーランスデザイナーとして活動。2002年に帰国後、岐阜を拠点に事務所を設立。2007年からは大同工業大学(現大同大学)で教員として10年間、名古屋の人材育成に関わる。2018年、香川大学創造工学部教授に就任。伝統から最先端までの技術と文化の編集を目指し、プロダクトデザインの可能性を探る研究、教育、開発を行っている。

## 香川

### 香川の文化革命 —金子知事から讃岐民具連に至る道—

—限目 / 19:00 ~ 21:00 (開場 18:30)



戦後、豊かなデザイン文化が花咲いた香川県。なぜそんなことが起こったのか、史実を整理することで見えてきた文脈がある。宝は足元に眠っている。香川の豊かなデザイン文脈と、その独立研究の価値とは？

話し手: **中條亜希子** CHUJO AKIKO

高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」館長

兵庫県西宮市出身。立命館大学卒業後、情報通信会社(広報担当)、デザイン会社勤務(インテリアコーディネーター)などを経て、2009年高松市歴史資料館の学芸員となる。「アート県」と呼ばれる前から育まれてきた香川のものづくりやデザインの歴史を紐解き、「心を豊かにするデザイン展(讃岐民具連とその時代2016/讃岐モダンへの歩み2019)」を二回開催。その他企画展開催多数。2022年、やしまーる館長(株式会社イースト)に就任。現在はデザイナーアーキストとしても活動している。

### コーディネーター



**稲波伸行** クリエイティブディレクター  
株式会社RW 代表取締役  
株式会社菟野デザイン研究所 取締役  
ライブデザインスクール リードデザイナー



**岡田心** プロダクトデザイナー  
大同大学 情報デザイン学科 教授  
ものづくりデザインプラットフォーム会長

### 【主催】

株式会社国際デザインセンター

### 【お問い合わせ先】

株式会社国際デザインセンター 事業部 「ナゴヤデザインスクールシリーズセミナー」係  
〒460-0008 名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル 6階  
TEL(052)265-2104 FAX(052)265-2107 E-mail dezasku@idcn.jp

締切 2/21(金)

申込  
▶

